

会期 | 2023年2月4日(土)~2月26日(日)
 会場 | マツモト市内19箇所
 主催 | マツモト建築芸術祭実行委員会
 委員長:齊藤忠政(扉ホールディングス株式会社代表)
 総合ディレクター:おおうちおさむ(有限会社ナノグラフィックス代表)
 特別協賛 | 扉ホールディングス株式会社
 会場施工協力 | 有限会社アルプ

協賛	信濃毎日新聞社 人生設計ナビ 市民タイムス (株)アスピア (株)アルガオートサービス (有)池国 エボンジュ (株)大月酒店 (株)小川原塗装店 北野建設(株) (株)農設計 (株)幸和 (株)五幸 (株)小林創建 (株)コンフォール サッポロビール(株)	協力	佐野歯科医院 三協電気工業(株) セイコーエプソン(株) (株)滝澤工務店 (株)巴屋 (株)八十二銀行 (株)堀内組 松本商工会議所 松本信用金庫 松本日産自動車(株) (株)村瀬組 (株)八幡屋礦五郎 (株)リーガルエキスパート (五十音順)
----	--	----	--

MATSUMOTO
Architecture+Art Festival
Area MAP

maaf.jp



*マツモト建築芸術祭の専用駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。



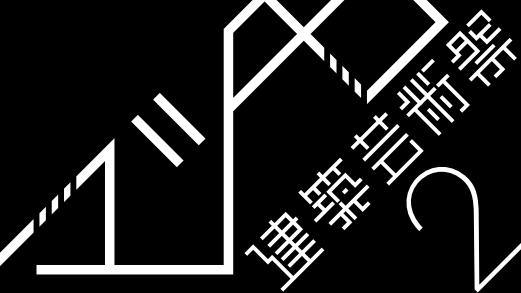
松本市の名建築を会場に、アーティストが作品を展示します。アートによって名建築が新しい姿を現し、その価値を再発見する芸術祭です。

MATSUMOTO Architecture+Art Festival Area introduction

開場時間・休館日は変更になる可能性があります。公式HPでご確認ください。

**黄色は有料会場
有料会場共通バスが必要です
(⑧に説明あり)**

**青色は無料会場
有料会場共通バスは不要です**

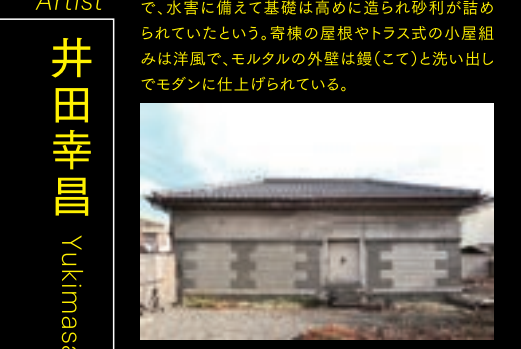


1 信毎メディアガーデン
松本市深志3丁目10-1 平日 11:00-19:00 土日祝日 10:00-19:00
Artist 井村一登 Kazuto Inura



建築紹介:長野県出身の建築家、伊東豊雄氏の設計で平成30(2018)年に建築。新聞社の社屋であるが公共空間を備えた施設として一般に開放されている。ルーバーや窓枠などの格子状の意匠や、光と影のコントラストが特徴的。

2 池上邸 土蔵
松本市中央3丁目13-15 10:00-17:00
Artist 井田幸昌 Yukimasa Iida



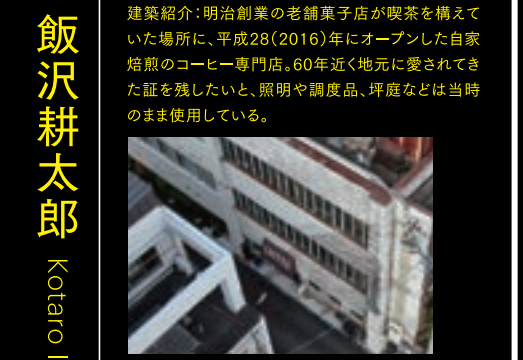
建築紹介:明治時代に来蔵として建てられた土蔵で、水害に備えて基礎は高めに造られ砂利が詰められていたという。寄棟の屋根やトラス式の小屋組みは洋風で、モルタルの外壁は縋(こて)と洗い出しでモダンに仕上げられている。

3 松本市近代遺産 旧三松屋蔵座敷 (はかり資料館)
松本市中央3丁目4-21 10:00-17:00 月曜定休
Artist 後藤宙 Kanata Goto



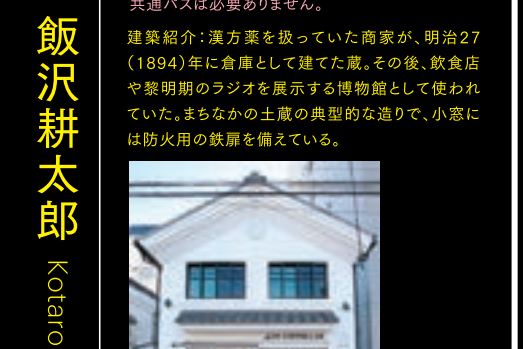
建築紹介:老舗材木商の当主が明治27(1894)年、旧開智学校を手掛けた大工棟梁に依頼した擬洋風の蔵座敷で、はかり資料館の付属施設として改修復元された。入口部分の装飾や模様の窓など随所に洋風の要素を取り入れている。

4a 珈琲茶房かめのや
松本市大手4丁目7-22 平日10:00-20:00 土日祝日10:00-18:00
Artist 飯沢耕太郎 Kotaro Iizawa



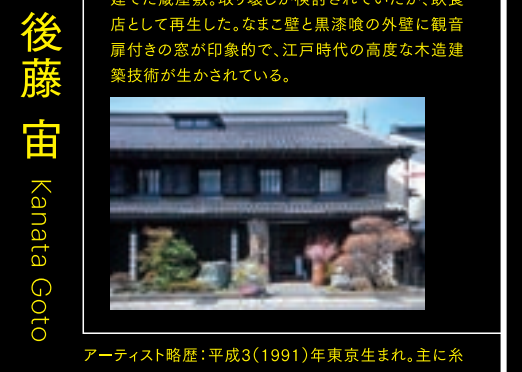
建築紹介:明治創業の老舗菓子店が喫茶を構えていた場所に、平成28(2016)年にオープンした自家焙煎のコーヒー専門店。60年近く地元で愛されてきた証を残したいと、照明や調度品、坪庭などは当時のまま使用している。

4b アルプスコーヒセラボ
松本市中央2丁目4-9 平日6:00-20:00 土日祝日10:00-20:00
Artist 飯沢耕太郎 Kotaro Iizawa



建築紹介:明治時代に来蔵として建てられた土蔵で、水害に備えて基礎は高めに造られ砂利が詰められていたという。寄棟の屋根やトラス式の小屋組みは洋風で、モルタルの外壁は縋(こて)と洗い出しでモダンに仕上げられている。

5 国登録有形文化財 松本市近代遺産 レストランヒカリヤ
松本市大手4丁目10-12 10:00-17:00 水曜定休
Artist 後藤宙 Kanata Goto



建築紹介:明治20(1887)年、地元の名門商家が建てた蔵座敷。取り壊しが検討されていたが、飲食店として再生した。なまこ壁と黒漆喰の外壁に観音扉付きの窓が印象的で、江戸時代の高度な木造建築技術が生かされている。

6 国登録有形文化財 松本市近代遺産 かわかみ建築設計室
松本市大手5丁目1-3 10:00-17:00
Artist MISSISSIPPI ミシシッピ



建築紹介:大正14(1925)年、医院併用住宅として建てた木造2階建ての看板建築で、正面だけではなく4面を洋風に仕上げている。上げ下げ窓の縦ライン、花や幾何学模様のステンドグラスが、アールヌーボーを感じさせる。

7 下町会館
松本市大手4丁目8-11 10:00-17:00
Artist 青木悠太郎 Yutaro Aoki



建築紹介:昭和3(1928)年、業屋として建設された木造3階建ての看板建築。老朽化により再生工事を行い、平成7(1995)年にまちづくりの拠点施設としてリニューアルした。建物正面は当時のまま残されており、土上通りの味わいを深めている。

8 松本市近代遺産 上土シネマ
松本市大手4丁目10-12 9:30-17:30
Artist 河合政之 Masayuki Kawai



建築紹介:松本市の上土通りで90年にわたって親しまれ、平成20(2008)年に惜しまれつつ閉館した老舗映画館。大正時代に市民有志により開館し、昭和42(1967)年頃、木造一部鉄筋コンクリート造の建物に改築されたといわれている。

11 松本市役所本庁舎 展望室
松本市丸の内3-7 8:30-17:15 土日祝日休庁
Artist 中島崇 Takashi Nakajima



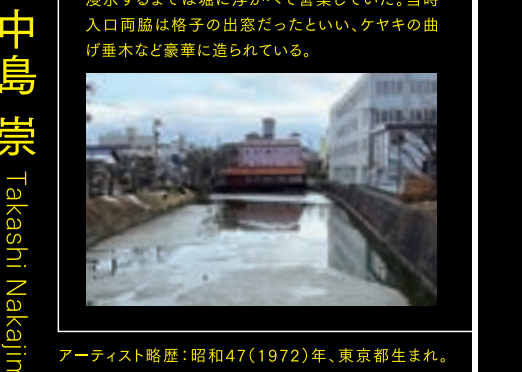
建築紹介:昭和47(1972)年、大阪府生まれ。ビデオ・アーティスト/理論家。映像の本質を問いかけ、哲学的な作風を特徴とする。映画、現代美術、ライブ・パフォーマンスなどジャンルを超えた、幅広い活動を国際的に展開。

9 国登録有形文化財 松本市近代遺産 割烹 松本館
松本市丸の内7-39 11:00-17:00 2/13、2/22休館 2/7、2/9、2/24大広間のみ入場不可
Artist 福井江太郎 Kotaro Fukui



建築紹介:明治23(1890)年創業の老舗料亭。目黒雅直館に感銘を受けた2代目当主が、松本でも寛客をもてなすため昭和10(1935)年頃に建設。拘欄豪華な大広間、英国情緒あふれる手洗所など格調高い空間となっている。

10 かき船
松本市丸の内7-30 屋外展示
Artist 中島崇 Takashi Nakajima



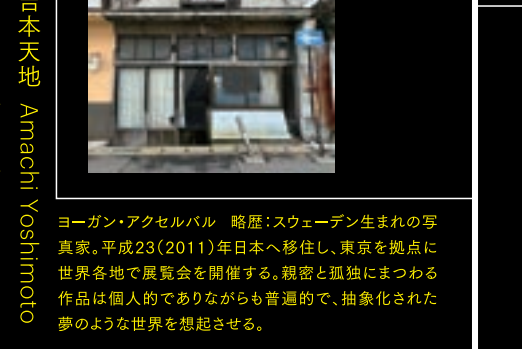
建築紹介:昭和8(1933)年に開業した社囃料理を提供する屋形船。現在は棧橋に固定されているが、浸水するまでは堀に浮かべて営業していた。当時入口両脇は格子の出窓だったといひ、ケヤキの曲げ垂木など豪華に造られている。

12 旧油三洋裁店
松本市大手2丁目249-10 10:00-17:00
Artist amachi. 吉本天地 Amachi Yoshimoto



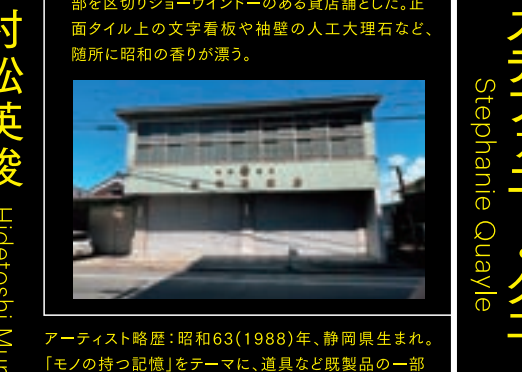
建築紹介:昭和のメインストリートだった六九商店街の長屋風の看板建築で、昭和初期から洋服の仕立をする洋服店として営業していた。石張りを模した外壁など、同一棟でありながら隣の仏具店とは異なる洋風の意匠を凝らしている。

15 ミシシッピ ミシシッピ
松本市丸の内7-30 屋外展示
Artist amachi. 吉本天地 Amachi Yoshimoto



アーティスト略歴:昭和44(1969)年、東京生まれ。平成18、25(2006、08)年、紺綬褒章を受章。ダチョウをテーマに数多くの作品を発表。昨年は、十三代目市川團十郎白猿襲名特別公演にて祝幕を制作。現在、東京とニューヨークにアトリエを構え、世界的に活動中。

13 旧高松屋商店
松本市大手2丁目4-36 10:00-17:00
Artist 村松英俊 Hideroshi Muramatsu



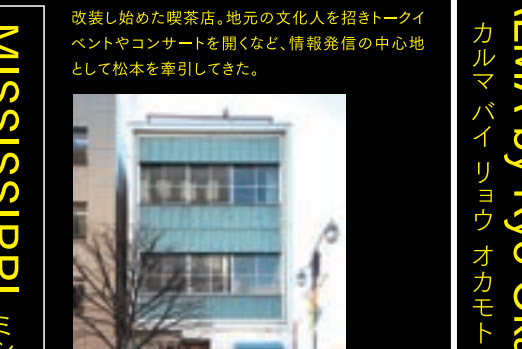
建築紹介:食品卸業を営んでいた高松屋商店が、昭和36(1961)年に建設。昭和50年代に建物の一部を区切りショーウィンドーのある貸店舗とした。正面タイラ上の文字看板や袖壁の人工大理石など、随所に昭和の香りが漂う。

14 松本市立博物館
松本市大手3丁目2-21 屋外展示
Artist 白鳥真太郎 Shintaro Shiratori



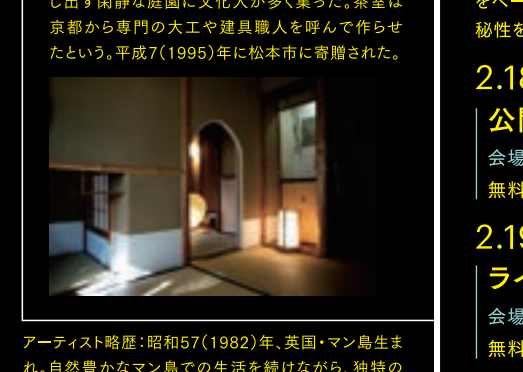
建築紹介:老朽・狭路化により、松本城の二の丸から大名町通りに面した三の丸に移転した。正面の吹抜空間はガラス張りのパブリックスペースで、無料展望ラウンジ、夜間ライトアップなど市民の憩いの場になることを目指している。

18 コーヒーラウンジ紫陽花
松本市大手3丁目8-11 屋外展示
Artist CALMA by Ryo Okamoto



建築紹介:船員だった先代が各国料理を紹介したいと、昭和48(1973)年に商社だったビルの1階を改装し始めた喫茶店。地元の文化人を招きトークイベントやコンサートを開くなど、情報発信の中心地として松本を牽引してきた。

16 池上百竹亭 茶室
松本市丸の内10-31 10:00-16:30
Artist ステファニー・クエール Stephanie Quayle



建築紹介:昭和33(1958)年に建てられた私邸で、日本の伝統を伝える和室と茶室、露地や竹林が醸し出す閑静な庭園に文化人が多く集った。茶室は京都から専門の大工や建具職人を呼んで作らせたという。平成7(1995)年に松本市に寄贈された。

17 旧小穴家住宅
松本市北深志1丁目319-1 10:00-17:00
Artist 鬼頭健吾 Kengo Kito



建築紹介:大正時代に自宅として建設された主屋は、バンガローを思わせる玄関や三角形の出窓など洋風に造られている。離れは昭和11(1936)年に建てられ、畳敷きだが透かし彫りの換気口など造作は洋風に仕上げられている。

18 長野県立 旧司祭館
松本市開智2丁目6-24 9:00-17:00 月曜休館
Artist CALMA by Ryo Okamoto



建築紹介:長野県内に現存する最古の西洋館で、明治22(1889)年に宣教師の住居として建設された。平成3(1991)年に移築。開放的なベランダや各室に備えられた暖炉など、本格的な洋風住宅建築として価値が高い。

Associate Program 公開制作・ライブパフォーマンス

[15 minuts after]
熊野寿哉、アオイヤマダ、スティヴ エトウによるライブパフォーマンス。古の時代から人間が無意識的に持つ植物の繋がりをベースに息づいてきた「常緑信仰」を刹那的な3つの表現(生け花、ダンス、音楽)で再確認させる。鑑賞する人の中の神秘性を呼び起こす唯一無二の15分間。

2.18 [±] 会場 日本浮世絵博物館 松本市島立2206-1
公開制作 17時~
会場:日本浮世絵博物館
無料 自由にご覧いただけます(休憩中の場合もあります)

2.19 [日] ライブパフォーマンス 18時開演
会場:日本浮世絵博物館
無料 定員:事前申込順40名 公式HPから申込

Artist 熊野寿哉 Hisaya Kumano
花人、空間演出家。幼少から美術に精通し学生時代は油絵を専攻。服飾・衣装デザイナーとしても活躍。20代に生け花の魅力を知り、以降は主に花人として活動。大規模な空間演出や舞台・映画のセットデザインも行う。

Artist アオイヤマダ Aoi Yamada
平成12(2000)年、長野県松本市生まれ。東京2020 オリンピック閉会式でのソロパフォーマンス、善光寺で行った奉納パフォーマンスのほか、舞台出演、楽曲制作など活動の幅を広げる。松本市文化奨励賞を受賞。

Artist スティヴ エトウ Steve Eto
昭和33(1958)年、作曲家の父のもとLAで生まれる。日本に移住し1980年代よりバンド活動を始め、演奏家として多くのアーティストをサポート。現在は奈良県に拠点を移し、打楽器奏者として多彩な活動を行っている。

[mouse on the keys: Pointillism]
あらゆる点が重なり合い描き出されるもの、それがPointillism。ミニマな蔵造りの空間で、3人の音が重なり合い生まれるアンサンブルは、美しく、楽しく、心地よい音を紡ぎ出し、芸術祭の時点と地点でできない楽曲を生み出します。制作過程を一般に公開しながら、最後にはライブパフォーマンスで作品を発表。芸術祭のフィナーレを飾ります。

2.23 [木・祝] -25 [±] 公開制作 10時~17時
会場:中町 蔵シック館 松本市中央2丁目9-15
無料 自由にご覧いただけます(休憩中の場合もあります)

2.26 [日] ライブパフォーマンス 18時開演
会場:信毎メディアガーデン(松本市中央2丁目20-2)
無料 定員:事前申込順定員制
詳しくは公式HPでご案内します

Artist マウス・オン・ザ・キーズ mouse on the keys
川崎朝、新智大介、白枝匠亮によるインストゥルメンタルバンド。琴線に響くピアノとシンセをベースに、ミニマリズムを基調としたアグレッシブなドラムサウンドが絡むライブパフォーマンスは、国内外で大きな注目を集める。

Artist Talk 飯沢耕太郎トークイベント
日本の写真評論家の第一人者である飯沢耕太郎が、トークで芸術祭のオープニングを飾ります。
時間:13:00~ 会場:アルプスコヒーセラボ 無料 定員:事前申込順20名 ワンオーダー必要

2/4 [±] 若手作家+おうちおさむ トークセッション
出版作家の井村一登、後藤宙、村松英俊が、総合ディレクターおうちおさむと芸術の本質について語り合います。
時間:15:00~ 会場:信濃毎日メディアガーデン 無料 定員:事前申込順40名

MISSISSIPPI + コーヒーラウンジ紫陽花 トークセッション
松本の街にモンスターを描いたMISSISSIPPIが街ぶりの視点を通して、壁を提供した紫陽花姉妹と熱く語り合います。
時間:17:00~18:00 会場:紫陽花 無料 定員:事前申込順25名 ワンオーダー必要

2/11 [±] amachi. + おうちおさむ トークセッション
独自の世界観をコレクションに昇華するamachiに、総合ディレクターおうちおさむがアートの視点から切り込みます。
時間:15:00~16:00 会場:ブラウニー(松本市大手2丁目3-1) 無料 定員:事前申込順20名

* 追加プログラムも予定しています。公式HPをご覧ください。